

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	イオンモール須坂	階数	地上4F
建設地	長野県須坂市	構造	S造
用途地域	商業地域	平均居住人員	23,000 人
地域区分	4地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年9月 予定	評価の実施日	2025年1月22日
敷地面積	155,093 m <sup>2</sup>	作成者	岩崎 康浩
建築面積	34,026 m <sup>2</sup>	確認日	2025年1月22日
延床面積	92,212 m <sup>2</sup>	確認者	竜田英行

  

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)												
<p>BEE = 3.0 ★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★☆ B+: ★★★☆ B: ★★☆ C: ☆</p> <p>30%: ★★★★★ 60%: ★★★★☆ 80%: ★★★☆ 100%: ★★☆ 100%超: ☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値: 100% (総合評価)</p> <p>②建築物の取組み: 65% (Q1 室内環境)</p> <p>③上記+②以外の: 65% (Q2 サービス性能)</p> <p>④上記+: 65% (Q3 室外環境)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したもの</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目安 (kg CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建設</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>修繕・更新・解体</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>運用</td> <td>138</td> </tr> <tr> <td>オンライン</td> <td>184</td> </tr> <tr> <td>オフサイト</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	項目	目安 (kg CO <sub>2</sub> /年・m <sup>2</sup> )	建設	46	修繕・更新・解体	92	運用	138	オンライン	184	オフサイト	0	<p>Q1 室内環境 (緑)</p> <p>Q2 サービス性能 (黄)</p> <p>Q3 室外環境 (敷地内) (黄)</p> <p>LR1 エネルギー (緑)</p> <p>LR2 資源・マテリアル (緑)</p> <p>LR3 敷地外環境 (緑)</p>
項目	目安 (kg CO <sub>2</sub> /年・m <sup>2</sup> )													
建設	46													
修繕・更新・解体	92													
運用	138													
オンライン	184													
オフサイト	0													

  

2-4 中項目の評価(バーチャート)										
<b>Q 環境品質</b>										
<b>Q1 室内環境</b>										
Q1のスコア = 2.8										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>音環境</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td>温熱環境</td> <td>2.6</td> </tr> <tr> <td>光・視環境</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>空気質環境</td> <td>3.9</td> </tr> </tbody> </table>	項目	スコア	音環境	2.3	温熱環境	2.6	光・視環境	2.5	空気質環境	3.9
項目	スコア									
音環境	2.3									
温熱環境	2.6									
光・視環境	2.5									
空気質環境	3.9									
<b>Q2 サービス性能</b>										
Q2のスコア = 4.0										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機能性</td> <td>4.7</td> </tr> <tr> <td>耐用性</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td>対応性</td> <td>3.7</td> </tr> </tbody> </table>	項目	スコア	機能性	4.7	耐用性	3.5	対応性	3.7		
項目	スコア									
機能性	4.7									
耐用性	3.5									
対応性	3.7									
<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b>										
Q3のスコア = 4.1										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生物環境</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>まちなみ</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>地域性・</td> <td>4.0</td> </tr> </tbody> </table>	項目	スコア	生物環境	3.0	まちなみ	5.0	地域性・	4.0		
項目	スコア									
生物環境	3.0									
まちなみ	5.0									
地域性・	4.0									
<b>LR 環境負荷低減性</b>										
<b>LR1 エネルギー</b>										
LR1のスコア = 4.7										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建物外皮の</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>自然エネ</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>設備シス</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>効率的</td> <td>4.0</td> </tr> </tbody> </table>	項目	スコア	建物外皮の	5.0	自然エネ	4.0	設備シス	5.0	効率的	4.0
項目	スコア									
建物外皮の	5.0									
自然エネ	4.0									
設備シス	5.0									
効率的	4.0									
<b>LR2 資源・マテリアル</b>										
LR2のスコア = 3.9										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水資源</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td>非再生材料の</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>汚染物質</td> <td>3.9</td> </tr> </tbody> </table>	項目	スコア	水資源	3.5	非再生材料の	4.0	汚染物質	3.9		
項目	スコア									
水資源	3.5									
非再生材料の	4.0									
汚染物質	3.9									
<b>LR3 敷地外環境</b>										
LR3のスコア = 3.6										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地球温暖化</td> <td>4.3</td> </tr> <tr> <td>地域環境</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>周辺環境</td> <td>3.2</td> </tr> </tbody> </table>	項目	スコア	地球温暖化	4.3	地域環境	3.3	周辺環境	3.2		
項目	スコア									
地球温暖化	4.3									
地域環境	3.3									
周辺環境	3.2									

  

3 設計上の配慮事項		その他
<b>整合</b>		
建物のグランドコンセプト「Tsunagu Suzakai」ひと、街、文化、そして未来を繋ぐ場。 外装には蔵の街並みをファサードに取り込み市街と景観のつながりを表現。 緑化による屋外広場や歩道状空地スペースを計画することで、人々を繋ぐ憩いの空間を提供している。		
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b>
・内装材はほぼ全面的にJIS・JAS規格のF★★★★の建築材料を採用している。 ・給気口は汚染源の無い方位かつ排気口から6m以上離れて設置している。	・売り場面積の4%以上のレストスペースを確保している。 ・屋外露出ダクト等の90%以上にガルバリウムダクトを使用し長寿命化を図っている。	・広場や歩道状空地スペースの確保やイベントスペースの確保をすることで空間提供・施設提供による地域貢献への取組みを行っている。
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
・高効率な設備機器等を導入しており、エネルギーの効率的利用に配慮した計画としている。 ・ハイサイドライト、自然光を活用した照明計画を採用することにより、自然エネルギーの有効的な利用を計画している。	・躯体材料にリサイクル資材を採用している。 ・非構造材料にリサイクル材の使用をしている。 ・PRTR法対象の有害物質を含まない建材を使用している。	・駐輪場の設置及び適切な駐車スペースの確保。駐車場の入口を複数設け、IN・OUTを分け車両幅を広く確保することで出入りを円滑にし、周辺道路への渋滞緩和に寄与した計画をしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフケーブルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフケーブルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される